

立ちどまらない保険。

MS&AD MS&ADホールディングス

証券コード：8725

MS&AD Report

中間ご報告 2015.4.1 ▶ 2015.9.30

CONTENTS

1 TOP MESSAGE

3 業績ダイジェスト（2015年度中間期）

8 CSRTピックス

9 会社概要／役員／株式の状況

10 株主メモ



持続的成長と企業価値向上を追い続ける 世界トップ水準の保険・金融グループを創造します。

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに2015年度中間期（2015年4月1日から2015年9月30日まで）のご報告をお届けします。
さて、当中間期のわが国経済は、企業収益の改善や設備投資の持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復基調が続きました。
こうした環境下、国内損保子会社は順調な営業活動に加え、自動車保険の商品改定効果や火災保険の一時的な販売増加などもあり大きく増収しました。また、海外子会社も好調に推移し、当中間期の連

結正味収入保険料は、1兆6,200億円と前年同期比9.1%増加し、1,345億円の大幅な増収となりました。
一方、当中間期の経常利益は、生命保険子会社の大幅増益に加え、政策株式売却加速による有価証券売却益増加があったものの、大型台風等による保険金支払などが影響し、前年同期比356億円減少の、1,224億円となりました。その結果、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比236億円減少し、860億円となりました。
次に、2017年度を最終年度とするグループ中期経営計画「Next Challenge 2017」の進捗についてご説明します。国内損保事業は自動車保険を中心に収支改善が進み、また中核損保2社の機能別再編では地域再編をはじめ、商品共同開発や大規模災害発生時の共同立会拠点の設置等でもシナジー効果が表れてきました。成長分野に位置づける国内生保事業、海外事業は、いずれもそれぞれの強みを活かした事業展開により、グループの柱に育ってきました。

また、本中計初年度よりERM経営を本格始動させていますが、国内損保事業の収益性を高めながら、資本の健全性と効率性を高めるために政策株式の売却を進め、成長性の高い海外事業へ再投資するという戦略を着実に実行に移しています。
2015年9月8日に発表しました「三井住友海上による英国保険持株会社アムリン社買収手続き開始の合意」につきましてもこの戦略に沿ったものであり、2015年度第4四半期中（2016年1月～3月）の買収完了を予定しています。同社は英国ロイズにおける主導的プレーヤーであり、再保険事業を含めた専門性の高い引受能力と高度なリスク管理態勢を持った収益力に優れた大手保険グループです。買収完了後は両社の強みを活かし、グローバルにシナジー

を発揮してまいります。
なお、当社では中期的にグループコア利益の50%を目処に株主還元を行うこととしており、2015年度中間配当金は、前年同期に比べ1株あたり6円増配し、35円とさせていただきます。また、2015年11月18日から2016年3月18日を取得期間として、100億円および500万株を上限に自己株式の取得を決定しております。
引き続き当グループの強みである多様性を進化させ、持続的な成長を目指して取り組んでまいりますので、株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2015年 12月

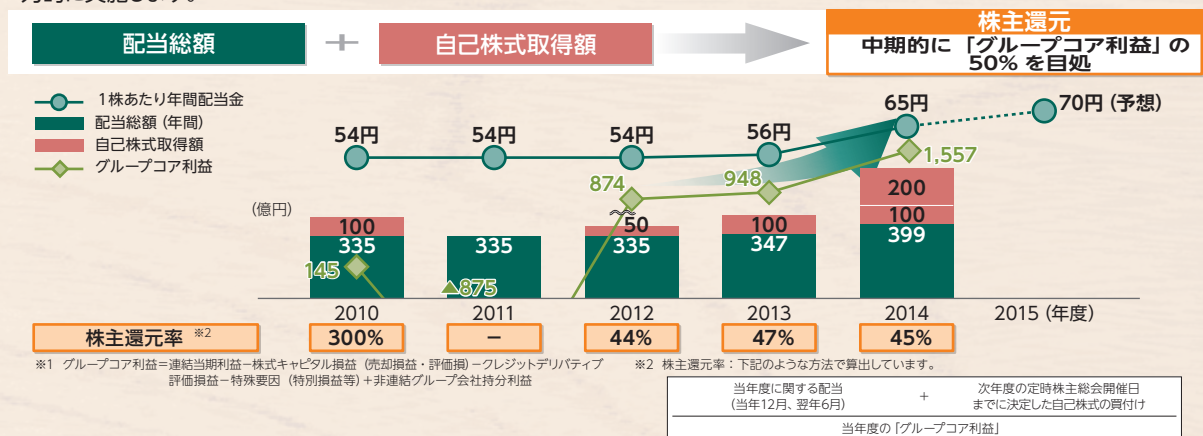


取締役社長

柄澤康喜

株主還元方針について

中期的に「グループコア利益」^{*1}の50%を目処に株主還元を行ってまいります。また、配当水準は安定性維持を基本とし、収益力をさらに高めて中期的に増配基調を目指すとともに、自己株式の取得は、市場環境・資本の状況も勘案して機動的・弾力的に実施します。



業績ダイジェスト (2015年度中間期)

MS&ADホールディングスの状況 (連結)

正味収入保険料は、国内損害保険子会社、海外保険子会社ともに大きく増収し、前年同期比プラス9.1%の1兆6,200億円となりました。

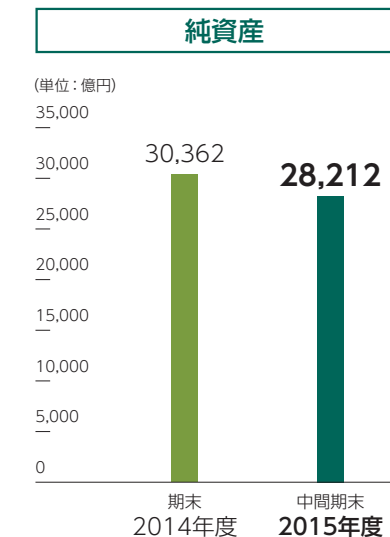
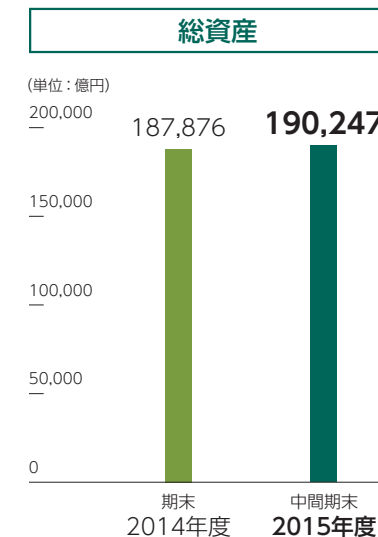
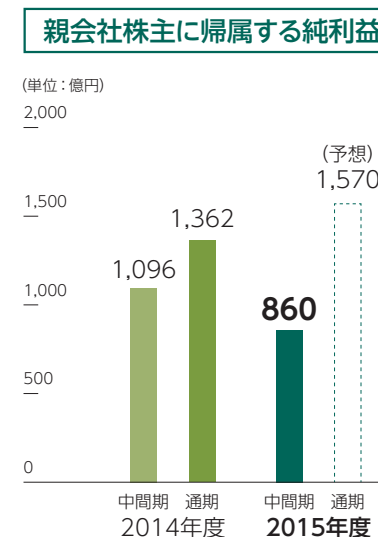
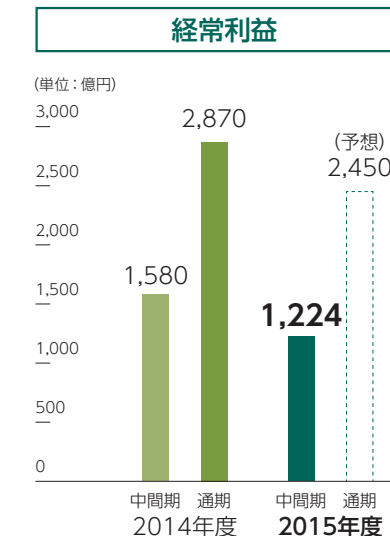
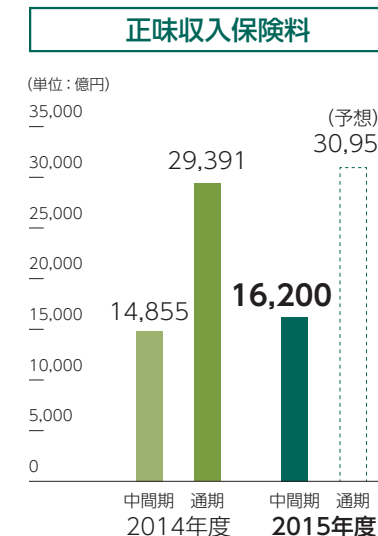
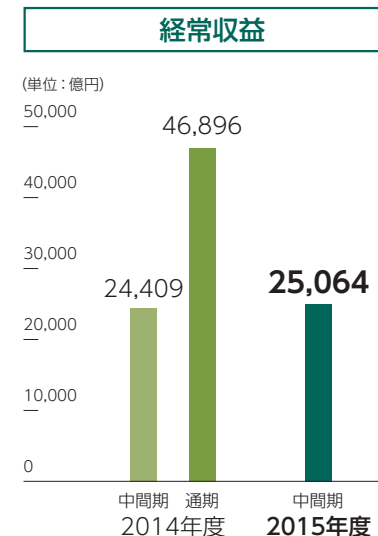
国内生命保険子会社につきましても引き続き販売好調であり、着実に業容を拡大しております。(P.7参照)

親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、国内生命保険子会社の増益や、政策株式売却の加速による有価証券売却益の増加があったものの、当期発生した台風15号・18号等により発生保険金が増加した影響などから、前年同期比マイナス236億円の860億円となりました。

(単位: 億円)

	2014年度 中間期	2015年度 中間期	増減額	増減率 (%)
経常収益	24,409	25,064	655	2.7
保険引受収益	21,249	23,234	1,984	9.3
正味収入保険料	14,855	16,200	1,345	9.1
資産運用収益	3,083	1,744	△1,338	△43.4
その他経常収益	76	86	9	12.9
経常費用	22,828	23,840	1,011	4.4
保険引受費用	19,834	18,407	△1,427	△7.2
資産運用費用	137	2,505	2,367	1,724.0
営業費及び一般管理費	2,803	2,854	50	1.8
その他経常費用	52	73	20	39.8
経常利益	1,580	1,224	△356	△22.6
親会社株主に帰属する中間純利益	1,096	860	△236	△21.6
総資産	187,876^(※)	190,247	2,370	1.3
純資産	30,362^(※)	28,212	△2,149	△7.1

(※) 2014年度末の数値を掲載しています。

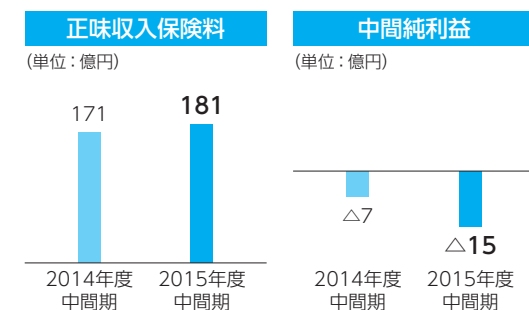
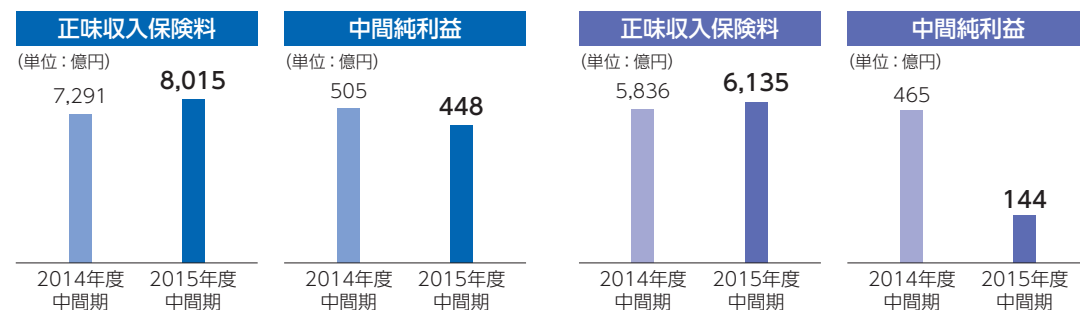


(注) 経常収益については、業績予想を行っておりません。

詳しくは当社WEBサイト「決算短信」をご参照ください。 <http://www.ms-ad-hd.com/ir/library/earnings.html>

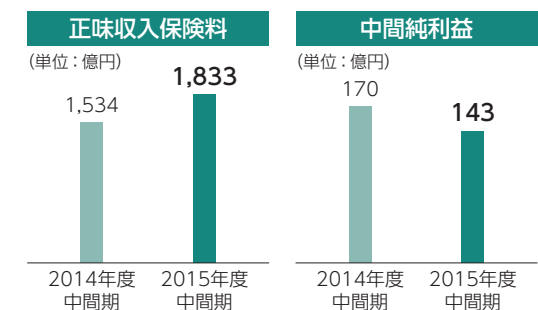
損害保険子会社における主要財務データ

	三井住友海上 (単体)			あいおいニッセイ同和損保 (単体)			三井ダイレクト損保 (単体)		
	2014年度 中間期	2015年度 中間期	比較増減	2014年度 中間期	2015年度 中間期	比較増減	2014年度 中間期	2015年度 中間期	比較増減
正味収入保険料	7,291	8,015	724	5,836	6,135	298	171	181	10
(対前期増減率)	4.1%	9.9%	—	1.1%	5.1%	—	△2.1%	5.9%	—
正味損害率	61.5%	52.7%	△8.8%	63.4%	55.3%	△8.1%	77.8%	73.2%	△4.6%
正味事業費率	31.5%	29.8%	△1.7%	34.9%	33.7%	△1.2%	22.4%	22.5%	0.1%
コンバインド・レシオ	93.0%	82.5%	△10.5%	98.3%	89.0%	△9.3%	100.2%	95.7%	△4.5%
保険引受利益	285	△25	△310	392	22	△370	△7	△15	△7
資産運用損益	443	619	175	169	186	16	0	0	△0
経常利益又は 経常損失 (△)	712	572	△140	573	214	△359	△6	△14	△7
中間純利益又は 中間純損失 (△)	505	448	△56	465	144	△321	△7	△15	△7
(対前期増減率)	△16.3%	△ 11.2%	—	64.3%	△ 69.1%	—	—	—	—
純資産	17,327 ^(※)	15,621	△1,705	7,969 ^(※)	7,363	△605	68 ^(※)	103	34
単体ソルベンシー・ マージン比率	651.5% ^(※)	631.6%	△19.9%	804.9% ^(※)	792.9%	△12.0%	255.9% ^(※)	349.5%	93.6%



海外保険子会社の状況

	2014年度 中間期	2015年度 中間期	比較増減
正味収入保険料	1,534	1,833	298
アジア	740	890	150
欧州	447	552	105
米州	210	247	37
再保険	137	143	5
中間純利益	170	143	△26
アジア	96	95	△0
欧州	25	△ 23	△49
米州	5	13	8
再保険	41	57	15



(注) 1. 上記の表およびグラフは、三井住友海上上の独自商品である自動車保険「もどリッチ (満期精算型払戻金特約付契約)」の払戻金当保険料を控除したベースで記載しております。

2. 正味損害率= (正味支払保険金+損害調査費) ÷ 正味収入保険料×100

3. 正味事業費率= (諸手数料及び集金費+保険引受に係る営業費及び一般管理費) ÷ 正味収入保険料×100

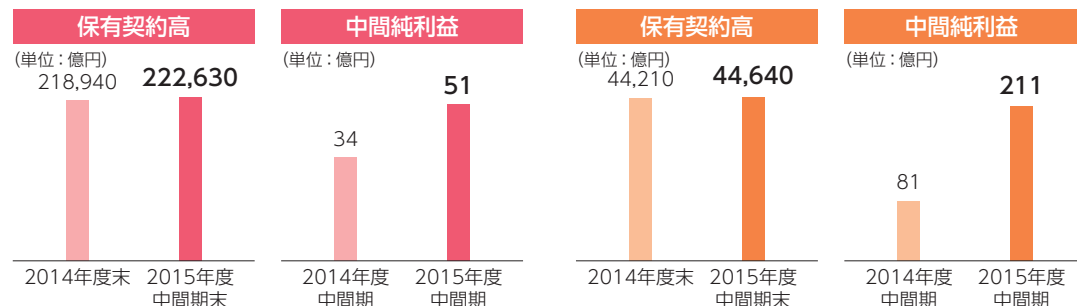
(注) 4. コンバインド・レシオ=正味損害率+正味事業費率

5. 単体ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な指標の一つであり、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされています。

(※) 2014年度末の数値を掲載しています。

国内生命保険子会社における主要財務データ

	三井住友海上あいおい生命 (単体) (単位: 億円)			三井住友海上プライマリー生命 (単体) (単位: 億円)		
	2014年度 中間期	2015年度 中間期	比較増減	2014年度 中間期	2015年度 中間期	比較増減
新契約件数	175,769件	158,921件	△16,848件	89,252件	114,601件	25,349件
保有契約高	218,940 ^(※)	222,630	3,690	44,210 ^(※)	44,640	430
保有契約年換算保険料	3,559 ^(※)	3,675	115	4,515 ^(※)	4,581	66
基礎利益	84	93	8	74	282	208
中間純利益	34	51	16	81	211	129
純資産	1,691 ^(※)	1,708	16	1,098 ^(※)	1,251	153
単体ソルベンシー・ マージン比率	1,429.9% ^(※)	1,478.3%	48.4%	879.7% ^(※)	1,054.5%	174.8%



- (注) 1. 新契約件数、保有契約高、保有契約年換算保険料は、個人保険と個人年金保険の合計を記載しています。
 2. 保有契約年換算保険料は、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額を示しています。
 3. 基礎利益は、保険本業の収益を示す指標の一つで、「経常利益」から「キャピタル損益」と「臨時損益」を控除したものです。
 4. 単体ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な指標の一つであり、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされています。
 (※) 2014年度末の数値を掲載しています。

■大規模な災害への対応

台風や地震などの大規模災害が起きた場合、多くのお客さまが同時に被害を受け、短期間に多数の事故のご報告をいただきます。MS&ADグループでは、このような場合でも、一日も早く適正な保険金をお支払いするため、被災地での対策室設置や、各地からの支援社員の派遣などができるよう態勢を整えています。2015年4月からは、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保がより迅速に効率的に立会調査を実施するための拠点を合同で設置するなど、グループを挙げた取り組みも開始しました。

また、国内外で発生した大規模災害の被災者を支援したいとの思いから、グループ各社の社員から寄せられた義援金に会社が同額を上乗せして寄付する「災害時義援金マッチングギフト制度」を運営しています。2004年の開始以来、計74件の寄付を実施し、寄付総額が5億円に達しています。



台風15号福岡対策室

台風18号被災地への
マッチングギフト贈呈の様子

■グループ環境取り組みが2つの賞を受賞

MS&ADグループでは、独自の環境・社会貢献マネジメントシステム「MS&ADみんなの地球プロジェクト」とISO14001を通じて、事業活動における環境負荷削減や水辺の生物多様性保全活動などを行っています。今般こうした取り組みが評価され、環境省が創設した「環境人づくり企業大賞2014 (※1)」の優秀賞と、東京商工会議所による「eco検定アワード2015 (※2)」エコユニット部門の優秀賞を受賞しました。

- ※1 地球環境と調和した企業経営を実現し、環境保全や社会経済のグリーン化を牽引する環境人材の育成を推進する事業者を表彰するもの
 ※2 積極的かつ模範的な環境活動に取り組むeco検定合格者・団体を顕彰するもの

水辺の生物多様性保全活動「MS&AD
ラムサールサポーターズ」(和白干漏)

「環境人づくり企業大賞」授賞式

■「責任投資原則」への署名

MS&ADグループでは、ESG (環境、社会、企業統治) 課題に配慮した取り組みを行い、社会的責任を果たしていくことが企業の持続可能性を高め、企業価値の向上につながるという考えに基づき、CSR取り組みに注力しています。

この考え方を投資プロセスにも適用することにより、より広く社会的な課題の解決に貢献することを目指し、投資活動において投資先企業のESG課題への取り組みを適切に考慮することを求める「責任投資原則 (PRI)」へ、MS&ADグループとして、2015年6月に署名しました。

今後、機関投資家としての社会的責任を果たすため、この原則に沿った取り組みを進めてまいります。

Signatory of:

会社概要／役員／株式の状況

会社概要 (2015年9月30日現在)

社名	MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社
本店所在地	東京都中央区新川二丁目27番2号
設立	平成20年(2008年)4月1日
資本金	1,000億円
従業員数	39,376名(連結)

役員 (2015年9月30日現在)

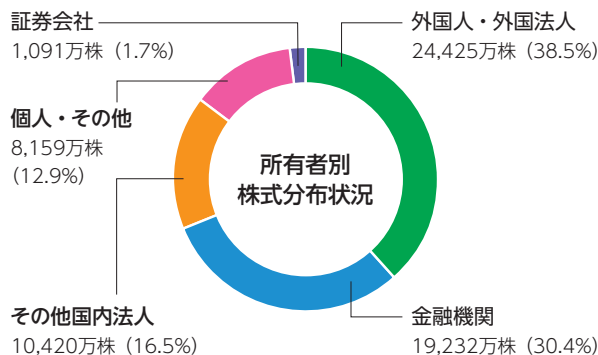
取締役会長(代表取締役)	会長執行役員	鈴木 久仁
取締役社長(代表取締役)	社長執行役員	柄澤 康喜
取締役(代表取締役)	執行役員	江頭 敏明
取締役(代表取締役)	執行役員	土屋 光弘
取締役	副社長執行役員	藤本 進
取締役	専務執行役員	藤井 史朗
	専務執行役員	柳川 南平
	執行役員	西方 正明
取締役	執行役員	金杉 恭三
取締役	執行役員	宇井 純一
	執行役員	吉川 哲也
	執行役員	松本 雅弘
	執行役員	平野 幹人
	執行役員	伊藤 彰彦
	執行役員	大川畑 文昭
	執行役員	吉原 善尚
	執行役員	遠藤 隆興
	執行役員	神野 秀磨
社外取締役		渡邊 顯
社外取締役		角田 大憲
社外取締役		小川 是
社外取締役		松永 真理
監査役(常勤)		三浦 浩
監査役(常勤)		吉野 二良
社外監査役		安田 莊助
社外監査役		野村 晋右
社外監査役		手塚 裕之

株式の状況 (2015年9月30日現在)

■発行済株式の総数	633,291,754株
■株主数	64,024名
■大株主状況(上位10名)	

株主名	保有株式数(万株)	持株比率(%)
トヨタ自動車株式会社	5,261	8.3
日本生命保険相互会社	3,632	5.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,859	4.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,220	3.5
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	1,889	3.0
MELLON BANK, N.A. AS AGENT FOR ITS CLIENT MELLON OMNIBUS US PENSION	1,115	1.8
CBNY - GOVERNMENT OF NORWAY	1,086	1.7
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	1,013	1.6
THE BANK OF NEW YORK MELLON SA/NV 10	754	1.2
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	741	1.2

※当社は自己株式2,628万株を保有していますが、上記大株主から除いています。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3か月以内に開催します。
配当の基準日	期末配当金：毎年3月31日 中間配当金：毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵送物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
特別口座の 口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社および 三菱UFJ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告の方法により、下記ホームページに掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。 http://www.ms-ad-hd.com/ir/notification/index.html

お問い合わせ先

三井住友信託銀行株式会社
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-782-031

三菱UFJ信託銀行株式会社
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711

株式に関するお手続きについて

- お受け取りがお済みでない配当金を受け取るお手続き
三井住友信託銀行までお申し出ください。
なお、配当金は、支払開始の日から満3年を経過しますと、当社定款の規定によりお支払いできなくなりますので、お早めにお受け取りください。
- その他のお手続き
 - 証券会社に口座をお持ちの場合
お取り引きの証券会社へお申し出ください。
 - 証券会社に口座をお持ちでない場合
特別口座での管理となっておりますので、三井住友信託銀行または三菱UFJ信託銀行へお申し出ください。

【お手続きの例】

- ご住所の変更
- 今後の配当金受取口座のご指定
配当金領収証でのお受け取りのほか、口座等への振込のご指定もできます。
- 単元未満株式の買取・買増のご請求
証券取引所で売買できない、100株未満の株式(単元未満株式)につきましては、買取・買増のご請求により整理することができます。

●例えば…当社株式を150株ご所有の場合

買取請求 当社に株式の買取をご請求 いただく方法	買増請求 当社から株式を買い増して 100株単位としていただく方法
--------------------------------	---

株主さまのご所有の150株のうち、当社が50株を買い取ります。え、当社から50株を買い増します。
▶株主さまのご所有の株式は100株となります。 ▶株主さまのご所有の株式は200株となります。



- 特別口座からの振替手続き
特別口座の株式につきましては、単元未満株式の買取・買増のご請求のほかは売買ができませんので、証券会社に開設された口座への振替をお勧めします。

MS&ADインシュアランスグループはサッカー日本代表を応援しています!!



©JFA/キリンチャレンジカップ2015
対イラク代表戦 先発メンバー (2015.6.11)

©JFA/MS&ADなでしこカップ2015
対ニュージーランド女子代表戦 先発メンバー (2015.5.24)

MS&ADインシュアランスグループはサッカー日本代表のサポーターカンパニーです。



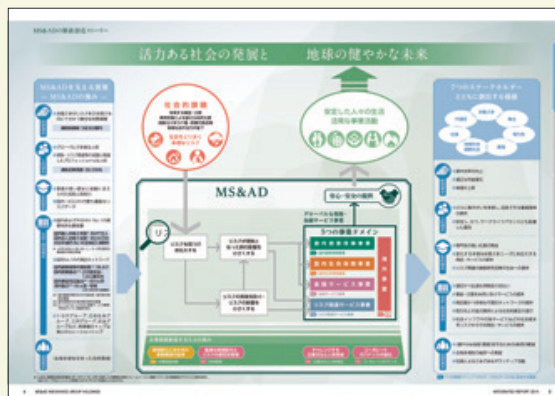
「MS&AD統合レポート2015」は、
「第3回WICIジャパン(※)統合報告表彰」にて
優秀企業賞を受賞しました!



当社グループの中長期的な価値創造についてよりご理解を深めていただくため、財務情報と非財務情報を統合し関連付けてご説明する「MS&AD統合レポート」を、これまでのディスクロージャー誌に代えて発行しました。当社グループの価値創造ストーリー、核となる5つの事業の戦略、社会的課題の解決を支援する取り組み、価値創造を支える仕組みなどを紹介しています。

(※) The World Intellectual Capital Initiative の活動を日本において推進する組織

MS&ADグループの価値創造モデル



WEBサイトのご案内

<http://www.ms-ad-hd.com>

MSAD

検索



当社WEBサイトでは、株主・投資家の皆さまへのIR情報・財務情報をはじめ、最新のニュースや社会貢献活動への取り組みなど、さまざまな情報を掲載しております。また、Eメールアドレスをご登録いただいた皆さまには、ニュースリリースをお知らせしておりますので、是非ご利用ください。

立ちどまらない保険。

MS&AD MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目27番2号 東京住友ツインビルディング西館

表紙の写真：新潟県南魚沼市

